SDGs新聞	相鉄ホールディングス株式会社（相鉄グループ）

ショッピングセンターだって地球にやさしくなきゃ

☑ SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは、地球にやさしいショッピングセンターってどんな場所をイメージしますか？
鉄道やまちづくりの会社「相鉄グループ」がつくったショッピングセンター「ゆめが丘ソラトス」では、太陽の光から電気をつくっています。
太陽光発電なら、地球温暖化の原因になってしまう二酸化炭素をほとんど出しません。
さらに、ゆめが丘ソラトスでは、みなさんが着なくなった服を集めてもう一度着られるようにしたり、
レストランなどで調理に使われた油を飛行機の燃料に変えたりもしているんですよ。
これはモノを捨てずにくり返し使う、地球にやさしい「循環型社会」をつくることにもつながります。
このように「ゆめが丘ソラトス」は大人も子どもも楽しくすごせて、地球にもやさしい場所をめざしています。
みなさんのまちにも、地球にやさしい工夫をしている場所があるかもしれません。ぜひ、調べてみましょう。

☑ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

今、世界では「地球温暖化」が大きな問題になっています。地球温暖化とは、空気の中の二酸化炭素などが増えて、地球の気温が少しずつ上がってしまうことです。気温が上がると、暑い日が続いたり、はげしい大雨が増えたりして、自然やわたしたちのくらしに影響が出てしまいます。二酸化炭素は、電気をつくるときや、モノをつくったり運んだりするときに多く出ます。ゴミが増えると、その分新たなモノをつくることになり、さらにエネルギーが使われ、二酸化炭素も増えてしまいます。だからこそ、モノをすてずにくり返し使い、ゴミを減らし、電気をむだにしないことが大切です。こうした考え方を「循環型社会」といいます。

画像参照：循環型社会のイメージ

画像参照：「ゆめが丘ソラトス」の館内
（ゆめが丘ソラトスのWebサイトより）

鉄道やまちづくりの会社「相鉄グループ」がつくったショッピングセンター「ゆめが丘ソラトス」では、太陽の光から電気をつくる太陽光発電を取り入れています。太陽光発電は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さない、地球にやさしい発電方法です。さらに、ゆめが丘ソラトスでは、着なくなった服を集めてもう一度着られるようにしたり、レストランやおうちなどで調理に使われた油を飛行機の燃料に変えたりする取り組みも行っています。この燃料は「SAF」とよばれ、これまでの飛行機の燃料よりも二酸化炭素を出す量を少なくできるといわれています。このように、モノをくり返し使いながら、地域の方とも協力してエネルギーや資源をむだにせず、みんなに長く愛される場所をめざしているのが、ゆめが丘ソラトスです。

☑ キーワード

二酸化炭素

電気をつくったり、車や飛行機を動かしたりするときに出る気体です。増えすぎると、地球温暖化の原因になります。

太陽光発電

太陽の光から電気をつくる方法です。屋上などにパネルを設置して発電します。二酸化炭素をほとんど出さない地球にやさしい発電方法です。

SAF

SAFは「Sustainable Aviation Fuel」の略で、日本語では「持続可能な航空燃料」といいます。飛行機を動かすための燃料で、調理で使い終わった油などからつくられます。

☑ 対象ゴール

みなさんにできること！

使わない電気をこまめに消し、モノを大切に使ってむだを減らしてみましょう。

おさらい

- モノをすてずにくり返し使う社会を「循環型社会」という。
- 「ゆめが丘ソラトス」では、太陽光発電や衣服の回収に取り組んでいる。
- 調理で使われた油を飛行機の燃料（SAF）に変え、二酸化炭素を減らす工夫をしている。

メモ

SDGs ラジオ